

心臓バイパス タイ旅行記 2022 & 手術記



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			4/27 タイへ出発	28 象に乗る	29 古本屋	30 タイ旅行 財布お土産
5/1	2	3	4	5	6	7
	* 発症・帰国・入院 *			聖徳病院	転院決定	
8	9	10	11	12	13	14
	転院	三井記念病院			手術	
15	16	17	18	19	20	21
	ワウリ		人工心臓 外れる			
22	23	24	25	26	27	28
	一般病棟へ		院内 自由行動			
29	30	31				
		退院				

新小岩マジック



象に乗る体験と
微笑みの国の優しさ
急転直下の心筋梗塞

残念ながら予定の半分も回れませんでした、

楽しさ一杯のタイ旅行でした



目次

この本について	3	ホテルに戻り、マッサージ	19
PART1 バンコク旅行編		2022年4月29日(金) 買い物デー	20
コロナ禍の中での海外旅行の解禁	5	部屋チェック	20
タイの Test and Go プログラム	5	朝食	20
各種の申し込み	7	チャイナタウン	21
2022年4月27日(水) 出国の日	8	ワット・トライミット	22
搭乗手続き	8	トゥクトゥクじじい	23
機内食	9	タイセンター	23
タイ到着	9	シルク専門店 IFC	24
チェックイン	10	宝石店	24
PCR 検査	10	じじいとお別れ	24
籠城開始	11	昼食	25
夕食	12	ヤワラート古書店	26
2022年4月28日(木) 象に乗った日	13	紀伊国屋書店	27
朝食	13	ホテルに戻る	27
チェックアウト	14	部屋で夕飯	28
ホテルを移動	14	2022年4月30日(土) トラブルの日	29
MRT とタクシー	15	ウイークエンド・マーケットへ	29
サムブラン動物園	16	財布が…ない!?	30
象乗りタイム	16	駐在所	31
チップおねだりタイム	16	ホテルに戻る	32
Lak Song 駅に戻る	17	財布が…戻りそう?	32
Magic Dojo	17	洗濯	33
		コンビニで買い出し	33
		財布が戻りました!	34

夕食	35	PART2 墨東病院編	
部屋に戻る	35	2022年5月3日(火) 青砥駅タクシー乗り場	52
2022年5月1日(日) 帰国前PCR検査	36	収容先の病院を探す	52
スクンビット病院	36	墨東病院のCCU	53
ジャッジカンファレンス	37	カテーテル検査	54
抗原検査	38	カテーテルの限界	55
薬の飲み忘れ	38	2022年5月4日(水) 退屈との戦い	55
洗濯物を回収	39	2022年5月5日(木) 採血に苦労	56
ジョッドフェアーズ・ナイトマーケット	39	2022年5月6日(金) 転院の依頼	57
コロナ陰性	40	2022年5月7日(土) 腹をくくってください	58
ナイトマーケットを堪能	41	2022年5月8日(日) 転院待ち	59
ホテルに戻る	41	2022年5月9日(月) 転院	60
2022年5月2日(月) 帰国前倒し	42		
陰性証明書のプリントアウト	42	PART3 三井記念病院編	
フライト変更	43	2022年5月9日(月) 世界とつながった	62
これからの予定	44	入院手続き	62
ホテルをチェックアウト	44	大部屋での扱い	63
スワンナブーム空港	45	差額メシ	63
フライトのチェックイン	45	ツイッター凍結	64
マクドナルドで夕食	46	喉の渴き	64
搭乗待ち	47	今後の予定	65
搭乗	47	クレカ持ってきて	66
2022年5月3日(火) 帰国	48	ベッド交換	66
入国時のコロナ検疫	48	就寝	66
病人カードを切る	49	2022年5月10日(火) ダイエット計画	67
抗原検査	49	歩行ドクターストップ	68
成田空港を離脱	49	補給物資の到着	68
青砥駅	50	クレカの前倒し決済(ヨドバシ/VISA)	69
		2022年5月11日(水) 57歳になりました	70

クレカの前倒し決済 (MUFG/MasterCard)	71	手術の傷跡を確認	86
エンディングノートを書く	72	2022年5月21日(土) 外れていく拘束	87
手術の準備	72	2022年5月22日(日) 院内無料Wifi	87
2022年5月12日(木) シャワー室での快感	74	2022年5月23日(月) 渴きとの闘い	88
栄養指導	75	心臓の電気ショック療法	89
絶食の開始	76	HCU を出る	90
2022年5月13日(金) 手術の朝	77	2022年5月24日(火) 腹に七つの傷を持つ男	91
PUIPUI ナース	77	シャワー実績解除	91
手術開始	78	大部屋に移動	92
手術成功	78	2022年5月25日(水) 女房と顔合わせ	92
血圧低下	79	2022年5月26日(木) そろそろ退院?	93
		インシュリン自己注射	94
PART4 リハビリ・退院編		2022年5月27日(金) 米食をカット	95
2022年5月14日(土) ICU	81	2022年5月28日(土) ベッドを通路側に移動	95
痰の排出地獄	81	2022年5月29日(日) 退院の要望を訴える	96
2022年5月15日(日) ~5月17日(火) 挿管中	82	荷物の整理	96
2022年5月18日(水) 人工心肺が外れる	83	2022年5月30日(月) 明日、退院?	97
肺のリハビリ	83	もう一日、退院が延期?	98
2022年5月19日(木) HCU 行き待機	84	2022年5月31日(火) 退院	98
2022年5月20日(金) HCU に移動	85	会計	99
世界とつながりました	85	退院後	99
		あとがき	100

この本について

本書は2022年4月27日(水)～5月3日(水)に筆者がタイのバンコクに遊びに行った際の、いつものたのしい海外旅行記…だけで終わるつもりだったのですが、旅行中すでに心臓の変調の自覚症状が出始めていて、帰国するなり緊急入院して**心筋梗塞の開胸手術**をして1カ月の入院をしたためその入院と転院の体験記も兼ねています。内容は連続しているので4部構成で。

おことわり: 本書での記述は執筆時点(2022年7月20日)での事実に基づいておりますが、コロナを巡る状況は日々変化しております、必要な手続きなどは古くなっているものもあります。ご自身の渡航の際には、必ず最新の情報でご確認ください。

PART 1

バンコク旅行編



ワット・トライミットの御本尊を横から。**オールレンジ賽銭箱**と命名。

コロナ禍の中での海外旅行の解禁

もとより筆者はマジック・ザ・ギャザリング（マジック）の海外大会への参加をきっかけとして10年くらい前から海外旅行にはまっていたのですが、2020年からは世界的なコロナ禍でそれが難しい状況になり、2年くらい有休残を抱えて鬱々としていたものでした。

2021年秋にいささか無理をしてラスベガス旅行に行ったものの（帰国失敗というおまけつき）、どうやら2022年になるとこの辺はだいぶ**ゆるくなってきた**感がありましたので、GWに海外旅行に行こうと計画したのです。別にコロナは根絶したわけでもまったくないので、どうやら世界は割と「根絶は無理だけど様子を見て経済を回したほうが」と思ってきたようです。

2021年秋のラスベガス観光旅行と、コロナ対策によるアレコレは同人誌「ラスベガス旅行記2021（MTG観光編）」「ラスベガス旅行記2021（コロナトラブル編）」で述べましたので、よろしければそちらをどうぞ。

タイのTest and Goプログラム

GWは特に海外マジック大会の予定などはなかったもので、近隣アジアの中で海外の観光客向けに解禁を始めて行きやすい所はどこかなと3月頃に検討を始めたところマレーシアとタイが候補になりました。マレーシアは、もともと2年前にQJ（ジャッジの友達）の家に遊びに行くプランが頓挫したので真っ先に検討したのですが、どうも「ペナン島」のみを隔離エリアとして観光客に解禁し、ペナン島で一週間滞在したら他のマレーシア国内に移動できるというプランだったのでさすがに難があったので見送りました（マリンスポーツをしたいわけではないので）。それからタイについて調べると、タイは観光客向けの「Test & Go」プログラムというのを実施しており「これなら行ける」と思わせる合理的で必要十分な内容でした。

基本的にはタイ政府のTest&Goのサイト（現在は廃止）で、次の申し込みをして書類等を画像送信することで入国許可を得られるというものでした。

- ・パスポート（当然ですね）
- ・ワクチン2度接種の証明書（ワクチン接種者の場合のコース）

籠城開始

検査が終わったので18時過ぎ部屋に戻る。あとは基本、陰性の結果が出るまでここに軟禁です。

とりあえず部屋のチェックを開始。まあ、そこそこのいい部屋。1泊1万円は取られるタイではクソ高い5つ星ホテルですけど。HISのサイトでなければ、もっと安い宿にできたかもしれません…。



部屋に無料のペットボトル水が何本もあり、冷蔵庫には冷えたヤツも入っていました。いいですね。さっそく開けて飲みます。ごくごく。

テレビをチェック。日本のニュースも日本語で観られますけど、まあどうでもいいかな…。

Kindle Fireにキーボードをつけてセットする。とはいえ、まだ何も書くこともないな…。

スマホで無料コミックを読んだりしてヒマを潰すしかない状況ですが、そもそも検査結果はいつ来るのかな、と思って貰った日本語の紙をしげしげと読む（原文ママ）。

- ・検査は16時間以内、病院から結果をいただきます。
- ・感染者のみすぐ知らせます。早くチェックアウト方、朝7時後、0を押して確認ができます。

あ…つまりコレ、連絡が来なければ（＝陰性）明日の朝7時に自分からフロントに電話するしかない、つまり今夜は部屋から出られないということか。

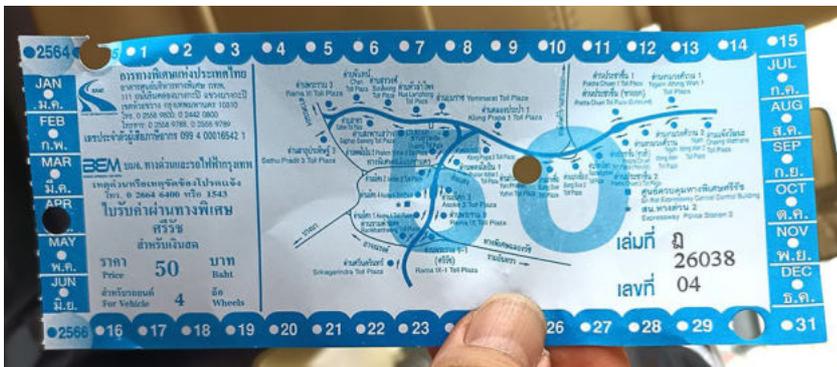
16時間はないにしても、PCR検査でも最速で1時間もあれば結果が出るのも知っている、あるいは早く連絡が来たら**夜遊び**あるいはホテルからタクシーをMagic Dojo（店）に飛ばし21時30分からの「ニューカペナの街角」プレリ参加もワンチャン、と思ったが無理。諦めよう。

駐在所

マーケットを北に横切って駐在所に到着。さっそく警官に「財布を無くしました」と伝えてマーケットの入口でタクシーを降りたときの状況を説明し「おそらくはタクシーの車中に落としたのではないかと思います」とも申し添えます。財布の中身の現金とクレカについても説明。

ぜんぜん関係ないけど、担当についた褐色の肌の**婦警さん美人**でした。

警官は聞き取りを行ったのちに「警察からタクシーにアナウンスする」と言い、さらにこちらの宿泊ホテルを確認したのちに、ホテルまでタクシーで送るので、この紙を運転手に見せてこれを渡し、ホテルで支払いを行いなさいと日付入りの高速道路チケットと手書きのメモをくれました。財布が戻ってくることはあまり期待できないものの、お礼を言って駐在所を出ます。素直に従うしかないわたくし。

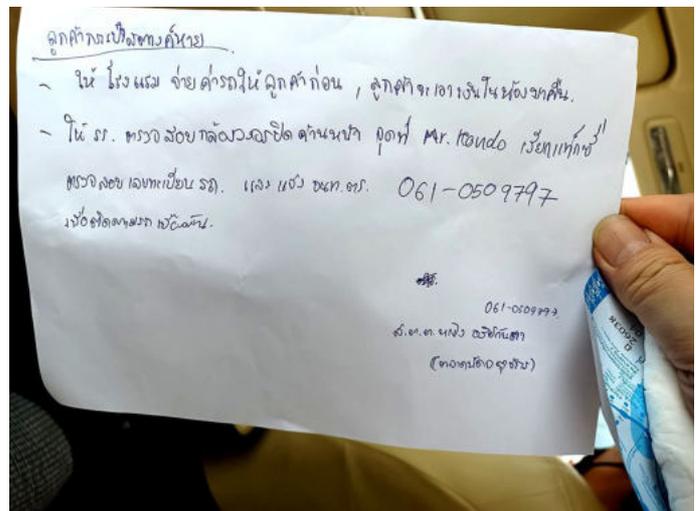


渡された高速道路チケット。

50 バーツ払ってちゃんと高速道路で帰りなさいということですね。もちろんタクシーの運ちゃんに渡します。

タクシーに見せた手書きのメモ。Google Lensで翻訳をしたところ「財布を持っていません。料金はホテルから請求してください。警察が手数料を取ります。乗る所を監視カメラで撮影しています」とか書いてありました。

おそらく警察の手数料込の料金をホテルに請求させて、それをタクシーから警察へと納付しに来いという意味だと思いました。



PART2

墨東病院編



東京都立 墨東病院
(錦糸町・2022年7月23日撮影)

2022年5月3日（火） 青砥駅タクシー乗り場

心臓の痛みなどはなかったものの、炎天下のタクシー乗り場の道路で失神して倒れたわたくし。少ししてコンクリートの地面に寝ている自分に気がつきました。頭などは打たなかったようです。周囲から「起きなくていいから」「いま救急車を呼んだから」とか大勢が言っているのが耳に入ってきたので、お言葉に甘えてそのまま動かず待ちます。もう1回くらい意識が飛んだ後で、救急車が到着したので、収容されました。

収容先の病院を探す

救急車の中で横になると、応急処置を受けたかどうかは忘れましたが、次第に意識がはっきりとして来ましたので、救急隊員と会話をします（鼻から酸素くらいはあったと思います）。

「タイに観光旅行をしていたのですが、途中で心臓がヤバイという自覚症状があったので帰国を前倒しにして今朝成田から帰って来ました。たぶん心筋梗塞が発症しています」

「15年前に墨東病院で心筋梗塞の手術をやっています」

「ここでタクシーを拾って自宅まで戻り、そのまま女房と一緒に墨東病院に移動しERに入って入院する予定でしたが、その前に力尽きてタクシー乗り場で気を失ってこのようになりました」とありのままに伝えたい「なのでこのまま墨東病院に行っていただけると有り難いのですが」と伝えると「うーん、**東京ルール**というものがあまして、まずこの近くで収容して治療のできる病院を探すことになるんですよ」という救急隊員のお返事。

「救急車をタクシー代わりに使う」みたいなネットでたまに聞く話は、やはり悪意のある都市伝説なのだろうなと思いました。あるいは病院が1軒しかない、どこかの地方の話とか。

とりあえずスマホで自宅に電話し、女房に青砥駅で倒れていま救急車の中にいること、収容先をいま探していること、それが分かったら改めて連絡することを伝えて電話を切ります。

それからしばらくは、救急隊員があちこちの病院（たぶん近い心臓外科のあるところ）に無線で連絡をして、こちらの症状を伝えて、心筋梗塞1名を収容できるかを伝えましたが、ゴールデンウィーク中でもあるためか、**ことごとく断られました。**

PART3

三井記念病院編



社会福祉法人 三井記念病院
(秋葉原・2022年7月21日撮影)

2022年5月9日（月） 世界とつながった

墨東病院から三井記念病院へと向かうタクシーの中で、女房が「はいこれ」と充電済のスマホを手渡してくれました。そういえばずっとCCUに居たから、まったくネットには接続できていなかったんだよね…ということで、さっそくツイッターにアクセス。

おお…世界が、世界とつながっているぞ！

ともあれこれからは基本、金曜日の手術後に再度CCUに入っただの数日間（後述）を除けば、常時ネットにアクセスしてアレコレを行えるようになりました。とりあえず女房との連絡がいつでもできるようになったので、必要な連絡や各種の相談などもスムーズにできるようになりました。実のところ、ここからはツイッターのDMでガンガンメッセージをやりとりしています。

入院手続き

なにごともなく三井記念病院に到着。そのまま、自分は予約済の部屋に移動します。

先週、墨東病院で「差額ベッド」と聞いていたので「うーん…」と思いつつ費用を心配していたのですが、実際に通されたのは**4人部屋**。えっ？個室じゃなかったの？

下で入院手続き中の女房から聞いた話では、どうやら「差額ベッド」というのは「窓際」2つか「通路側」2つの違いで、窓際は1日3300円が加算されるシステムであることが判明。室料の基本料金はよく分からないのですが、治療費に含まれていて無料ということなのかな？

いずれにせよ三井記念病院のサイトで個室の価格表を見て1日3万円とかにビビっていたので、この点の懸念はなくなりました。もっとも「窓際であるだけで1日に3300円も払う必要もないよね」とも思えたので、とりあえず「通路側のベッドに移動を希望」申請を女房に出しておいて貰うことにしました。

さらに女房から「明日からの毎日の着替えやタオルだけど、持ち込み交換かレンタルかを選べるみたい」と聞いたので、レンタル料はいくらかと聞くと、1日340～820円とのこと。これから毎日、女房に部屋着とタオルとバスタオルを持ってきて貰って交換して家で洗濯して貰ったうえ秋葉原までの電車代を使ってそれを届けて貰うことは**論外**と思われたので「全部レンタルで」と依頼して貰うことにしました。とりあえず3日分を受け取り、なくなったら追加を依頼。ただし

PART4

リハビリ・退院編

成人病の主因は、遺伝の要素も大きいもののやはり食生活・運動不足・肥満だと思いますので、ここでこの15年くらいの自分の体重の増減と、当時の状況などを最初に簡単に振り返っておきたいと思います。

2007年2月	41歳	85kg	半年くらい前からヤバい兆候はあったものの、心筋梗塞を発症し死にかけて墨東病院でカテーテル手術で一カ月の入院。
2007年3月	41歳	78kg	墨東病院を退院。入院中、病院食で毎日減る体重が面白くなりました。
			退院後にもダイエット継続。暴食を止めるだけでなく、自転車通勤を止めて徒歩通勤にしたり運動を増やしたこともあり、面白いように体重が減り続けました。
2008年9月	43歳	63kg	色々あって荒れた生活になり、この辺でダイエットを止め、このくらいがピーク。ここからリバウンドが始まります。
2018年2月	52歳	85kg	ミャンマーに居た頃は、このくらいの体重でした。
2020年2月	54歳	90kg	コロナの関係で「フルリモート勤務」になりました。毎日2時間の自転車・電車の通勤時間がなくなったので、運動不足になったと思われませんが、特に対策はしておりません。
2022年4月	56歳	95kg	タイ旅行中に、心筋梗塞を発症。ここから本書の内容。
2022年5月	57歳	85kg	一カ月の入院で、このくらい落ちました。
2022年7月	57歳	82kg	食事減量を中心にダイエット継続中。一進一退。そろそろ運動を絡めないと、ダイエットの効果は薄いようです。

筆者は現在は「これからもダイエットに励もう」と考えておりますが、一度リバウンドした過去もあり、果たしてどこまで続くやら…。まあ、できればこのまま続けたいと思っております。

大部屋に移動

昼食後「次の方が入りますので大部屋に移動します」とのこと。ま、そりゃそうだよね。

すでにコンディション的には見守りの必要はぜんぜんないし、もちろん個室料金を払う気もない。大部屋の窓際の席に移動。

あとは午後のリハビリ。筋力トレーニングを開始。

大部屋で、ラジオをつけていたのにやはりクレームが来たので（そりゃそうだろう）、女房にはイヤホンを持ってきてもらうように依頼。同時に、せっかくならば Kindle で映画など見るほうが良いので、ラジオ自体を持ち帰って貰うことにする。

大部屋だと空調が効かず、意外と夜も暑くもなりそうだったので、USB ミニ扇風機を買ってきて貰うことを依頼する。

今日はもうこれくらいしか書くことはなく、ネットをしたり病院食を食べたりして終了。

2022年5月25日（水） 女房と顔合わせ

朝食後の歯磨きを洗面所でしていたら、PUIPUI のナースが「ひろじさん、お帰りなさい」と声をかけてきました。

午前のリハビリを進めた結果として「院内の歩行 OK」が出ました。これで自分の足で、売店に行ってお好きなものを買って帰ることもできます。またこれからはリハビリ時は担当者が車椅子で迎えに来るのではなく、指定時間に自分の足で歩いて 7 階のリハビリルームまで行きリハビリを受けることになりました。さしあたり本日の午後 14 時のリハビリからそのように。

昼前にレントゲンを撮影。

14 時からリハビリ。自転車こぎが入りました。おもむろに 5 分 2 セットから。心臓よりは足の筋力的に割とへとへと。まあ、いい汗かきました。

そして汗をかいた状態で 14 時半からのシャワーもクリア。

そして夕方からは、いつものように女房が荷物の交換などをやりに来るわけですが、自分が院内の歩行可になったので、ひとつ売店あたりで久々に顔を合わせるか、という流れに。



あとがき

2022年夏の新刊「タイ旅行記 2022/心臓バイパス手術記」みなさまお楽しみいただけましたでしょうか？

詳しい経緯は本書をお読みいただければと思うわけですが、本書はゴールデンウィークにタイの旅行を決めた筆者が、当初はいつものように楽しい海外旅行本にのみなる予定だったのが、途中から心臓の不調に悩まされ続けて、どうやら心筋梗塞が再発したと確証を得て帰国後にただちに入院して、やばりの心筋梗塞のうえ開胸バイパス手術を行って退院するまでの記録です。

P.80 でまとめたように、自分は心筋梗塞で15年前に死にかけたものの、カテーテル手術により生還し一度はダイエットに励んで成功したものの、リバウンドしてしまって今回の結果に至ったわけですが、さすがに次はスリーアウトだろうとは思いつつ「あと15年もつようならいいか」と心のどこかで思っていなくもないです（笑）。ただ自分の2度の経験からは、心筋梗塞ってのは割と露骨に自覚症状が出ていて苦しくてもしばらくもつよなと思っていなくもないです。脳梗塞とかだともいきそうにないのですが（自分の母は朝いきなり倒れてそのままお亡くなり）。

ただまあ、今回とうとう「糖尿病も出てます」診断や「腎臓の数値も少し」とはいう話も出てしまい、自分も楽しいオタク生活が満喫できないようなら生きている意味も薄いと思っておりますので、今後は標準体重を目標に引き続き減量に励みたいと思っております。

2022年の冬には、10月末に予定している楽しいラスベガス旅行のご報告を、途中で病気で退場することもなく皆様にお送りできればと思っております。

タイ旅行記 2022/心臓バイパス手術記

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2022年8月13日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます